

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組 んで いき	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	基本的な考えを理念として作りあげている。		スタッフ全員理解している。
2 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	理念の実践に向けとりにくんでいる。		理念を認識し実践を！。
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らしていることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	ホールに掲示してあり、来訪者には説明している。家族には入居契約時説明している。		
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	近所の方から野菜やウエス等頂く。近隣の農家から米の購入をしている。		
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	自治会の加入の検討は未だ、規則の改正がないため加入は出来ていないが、近隣の方々の理解を受け、祭り、神輿の来ホーム。小学校運動会等に参加している。今秋は学校、近隣のインフルエンザの流行があり、交流を一時中止の申し入れされている。		
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	自治会の要望により、コスモス通信をだしている。コスモスの近況等通信している。認知症の予防発信している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組 んで いき ま)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>前年度の評価は大学ノートによる面会簿の廃止、スプリングクレーの設置であり、具体的に遂行している。</p>	
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>サービスの実際、取り組み状況の報告を行っているが、出席者からの意見は殆ど無いといえる。家族、近隣者、利用者、スタッフ、市職員が一同に会して、なま寿司食べる会をおこなった。</p>	<p>印 (取組 んで いき たい 項目)</p> <p>出席者が報告に対する意見を期待するところである。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>入居利用者を紹介して頂く等、指導を頂きながら対応している。</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>入居利用者の成年後見人擁立に関わる会議に出席、精神科医受診送迎、報告等支援している。</p>	
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止に係る会議等に出席しているが、当事業所に於いては、虐待めいた事すらないと断言できる。</p>	
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時の説明は十分行い、理解を得ている。</p>	

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>所持金の明示について利用者が(自己管理能力は無い)知りたい旨、うたえる。市には伝えてあるが、対応に苦慮する。担当精神科医はお金に執着を持つのは、認知症のためと言うが市が管理しているから、安心ね、と答え続けるしか方法はない。</p>	印 (取組んでいきたい項目)	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>月1回のコスモス便り。日常生活の報告、金銭は領収書と共に出納を明記し、身体異状があればDrから、家族とともに説明をうけている。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>具体的な事柄は無いが、あれば受入れ反映させたい。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>その都度、毎日の申し送り、月の定例会議やカンファレンス時にお互いの意見を出し合う機会がある。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>必要時間帯にパートを導入しているが、職員の緊急休暇時の対応が困難。</p>		<p>ラッキーユニットで現在鼻腔カテーテル2名、胃ろう者1名にてコスモスでの生活希望あり、対応している。</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>スタッフによる統一ケアをおこなっているため、利用者のダメージは無いと考えている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組 んで いき たい 項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>道を行う実践者研修、リーダー研修、HGCの研修会を交代でうけている。</p>	<p>職員に介護福祉士取得に向けて勉強会を持つ旨、周知している。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>広域連絡会には出席している。</p>	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>職員の慰労会をもっている。1時間休息を持つようにしている。</p>	
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>研修会の出席。定例会での発表、スタッフ相互間で指導、伝達し合い向上につとめている。</p>	
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入所以前に訪問馴染みの関係を作り出している。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>家族からの相談を受け入所に至るため、信頼関係は構築されている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組 んで いき)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	認知症だからG・Hではなく、デイサービス等紹介し家族介護を出来るかぎり続ける様働きかけている。		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	最初は家族共にリビングで食事をして頂き安心感を持つていただいている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	職員とともにウエスタたみ、オヤツハコ作りなど一緒に楽しい時間をもっている。		
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	面会を多くもつて頂いている、花見、なま寿司を食べる会、等参加して頂いている。		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	電話での会話、来訪時の居室での食事等良い関係に向け支援している。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	キーパーソンの了解を得て関係維持に努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組 んで いき	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者同士の関係をスタッフが見極め、配慮により、支え合えるよう手出し、口出しをせず、関係維持している。		
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	入院時は常にお見舞いし、退所された方にも季節の挨拶状をだしている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握			
33 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人一人一人の意思尊重に重きをおいている。		
34 これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族に過去の経歴を書いていたが、概ね、以前の状況把握をされていないのが、現状である。		
35 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	現状を把握して、ケアプランに反映して、総合的にケアしている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	家族の意見を反映し、係る職員でケアカンファレンスをユニットで行いケアプランを立てている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組 んで いき ま)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	緊急時、必要に応じ変化に対応しプランの立直しをしている。		
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	情報を共有し実践している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	日常生活支援という意味合いでは多機能に活かされていて支援に柔軟性をもっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	誕生会には社交ダンス、家族のボランティア、の参加、月2回のフラダンスの先生の協力をいただいている。		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	以前はリハビリに通院していた事もあるが、必要性は無いと思う	印 (取組 んで いき たい 項目)	本人家族の意向をふまえて支援してゆく。
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	特に無い。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組 んで いき	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>家族の意向に沿い受診医を決め関係を築いている。定期受診の他、異状時の連携をはかっている。</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>ミネルバ精神科医、脳心内科との治療診断を受けている。</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>事業所で看護師を確保している。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>主治医の指示にて入院例もあるが、毎日見舞いし現状を確認している。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>終末期に於ける家族の意向を書面で確認している。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>高齢に伴い、原疾患以外の発病に対し、ターミナルケアに必要な事項を主治医と連絡を密に取り、指示を仰ぎ、家族の要望に応じてゆく。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組 んで いき	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	家族の了解を得て、本人の納得の上行う為、ダメージは防げている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	プライバシーは確保されている。		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	利用者の希望にそえる様支援している。		
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	希望にそって支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	毛染めの希望、パーマの希望、化粧品の購入について希望にそい、ボランティア職員を利用者は気にいつている。		
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	好みを十分に活かせることは困難であるが、一緒に芋の皮むき野菜を刻む等、楽しみながら準備をしちる。食材は新鮮であり、残食も殆ど無い。共に食事をして、会話を楽しみ、後かたづけ等共におこなっている。コスモス畑で収穫したトウモロコシの皮むきを懐かしがりよるこんで、しょくしている。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組 んで いき	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。</p>	<p>おやつ、飲み物は3食に影響しない程度に甘い飲み物は控え目にしている。その他は十分供給している。</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。</p>	<p>サインを見逃す事無く、排泄パターンを知り、日中はトイレで排泄している。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。</p>	<p>週2回は入浴いただいているが、本人確認し是非の確認をしている。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。</p>	<p>朝、寝ていただいている人、職員とTVを見ている人自室でTVを見ている人さまざまである。1日のストレスをためこまず、発散させ、安心感を持ち眠れるよう支援している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。</p>	<p>利用者により異なり、徘徊、昼寝、野菜切り、袋たたみ、菓子箱作り、手紙書く等、フーセンバレー、歌の集いで気晴らしをしている。</p>		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>紛失しても納得のいく範囲での金額を持つていただいている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組 んで いき	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	外出が妥当な事であれば、戸外へ出れるよう支援している。温かい季節は散歩をしている。大体は銀行か社会保険庁への希望であり、靴をはいただけで戻る事が多い。季節的な事も影響してくる。		
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	花見、ラーメン食べに、洞爺湖一周、ウニ丼食べに等天候と相談しながらおこなう。		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	支援をしている。		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	居心地良く過ごしていただくよう配慮している。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束は無い。		
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	当ホームは居室を出ると外へ出るまで、設備上3ヶのドアがある。中玄関の鍵は日中開放されている。出てゆく利用者は居ない。		構造上現時点では問題ない。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組 んで いき	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	徘徊多く転倒しやすい人には付き添い歩行している。。誤嚥についてはミキサー食にトロミを使い介助をしている。薬は確認与薬、飲み込み確認している。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	自分でハサミ、針等もつているが、職員が常に注意し管理している。預ける事を拒否して仕舞い込み、無いと騒ぐ人は共に捜す。多人数でナイフ、ハサミを使い工作するときは完全管理をしている。漂白剤、包丁とうは夜間物品庫にしまい施錠している。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	徘徊多く転倒しやすい人には付き添い歩行してもらう。誤嚥についてはミキサー食にトロミを使い介助食をしている。薬は確認与薬、飲み込み確認している。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	救急救命の講習を受け、応急手当の訓練をうけている。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	災害時の混乱は自他共に避けがたいと思われるが、日頃定期的に訓練はおこなっている。自治会長、近隣者の参加もいただいている。常に備水をしている。		
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	2階階段際に、門扉を装置している。道の許可を得、設置して夜間の転落防止の必要性を説明了解を得ている。持ち込み食品、おやつ類は共に食した残物は、お持ち帰りいただいている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで いき)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	バイタル測定は毎日、体重測定は月1回おこなつて居る。顔色、呼吸、体調の観察は常に怠らず、異状状況にあれば、速やかに受診につなげている。		
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	各人の内服薬の説明書は個人記録にファイルされている。Drの指示とおり、確認と薬をおこなっている。症状の変化は体調、尿、便等の確認を担当がおこなっている。		
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	腸蠕動を促す食品、わかめ、ひじき根菜類を必ず食し、朝食前にバナナシエクを提供している。ラジオ体操、フーセンバレーで体を動かし便秘予防につとめている。		
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	3食後、うがい、歯ミガキ、口腔内の清拭は欠かさずおこなっている。		
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	総カロリー1,600カロリーを目安にして提供している。水分、食事の摂取量は記録に残している。		
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	常に手洗い、うがい、の励行。加熱して食す。外出の時はマスクの使用。皮膚乾燥予防にメンソレタムを塗布している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組 んで いき	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	週2回食材の購入仕入をしている。食品は新鮮である。食品庫、冷蔵庫、にて鮮度を保っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	花壇はバラスを敷き、植木を植え、整えている、駐車場も整備されている。		
81 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	採光も良く、静かで、花を飾り四季折々の行事もとり行い、よこばれている。		
82 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファーに腰掛、TVを観る人、おしゃべりに夢中になっているのがこの頃の風景です。		
83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	家族の意向に沿いつらえているが、スペースをゆつたりと、事故の無い様配慮している。		
84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	居室には寒暖計を置き、温度の確認、湿度保持に洗濯物をかけ、温かい日は空気の入替を短時おこなっている。リビングには加湿器兼空気清浄器を置いてある。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組 んで いき	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>床はクッション性が高く、すべりずらい素材で作られ、広い空間を自由に散歩している。手すりがとりつけられている。</p>		
<p>86 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>各人が自己能力の自覚をもっている。茶碗拭き、野菜きざみ、たまご焼き等、声掛けにておこなってもらっている。</p>		
<p>87 建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>多目的ホールがあり、月の誕生会、フラダンス、家族との集い、等で楽しんでいる。裏にはでの昼食会、お好み焼き、駐車場での花火大会等おこなっている。</p>		

サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない

. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
96 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p> <p>季節的な事もあり、インフルエンザ、ノロウイルスの流行もあり、外部との交流を避けるようDr指示ある。</p>
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<p>大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない</p>
98 職員は、生き生きと働いている	<p>ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない</p>
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない</p>
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<p>ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】健康管理を大切にしている。食事、排泄、睡眠を十分に維持し、日中の活性化を図ることを心がけ、ホールの活用ができる事で、7割達成可能である。

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載) 日中1時間程度の昼寝、午前午後のアクティビティが夜間の十分な睡眠につながっていると思われる。